

2011.10.12

CDNetworks、KDDIの戦略的パートナーとしての出資に合意

はじめに

昨今の未曾有な円高の進行や国内需要の停滞により、すでに海外進出を押し進めてきた企業だけではなく、消極的だった企業もグローバル化を大きく推進することが求められる時代になりました。その結果、日本企業による中国・韓国・東南アジアを中心としたアジア圏への進出は近年目を見張るものがあります。

今回のKDDIによるCDNetworksへの出資は、KDDIが掲げる3M戦略に基づいて行われたものですが、この急激なグローバル化による変化やネットワーク環境の変化、デバイスの進化・多様化に関連しています。KDDIはアジア方面への積極的な事業展開を進めるにあたり、ITのグローバル化をサポートする強力なパートナーの必要性を認識し、探していました。

一方CDNetworksは2005年から積極的にグローバルのサーバやネットワーク環境を整備し、世界各地のデータセンタに設備を敷設してきました。そして、2010年には、全世界をカバーする世界共通基盤によるCDNシステムの開設と、それに伴う組織体系および開発体制の整備などを行いました。2011年に入り日本を含むすべてのグローバル拠点での整備が一段落し、安定した経営状態に入ったことで、さらなる成長と世界NO.1のCDNサービスベンダーを目指すための基盤が整いました。

今回の出資により、弊社グループはKDDIの持つインフラ網やデータセンター、グローバルな海外拠点を後ろ盾に、ビジネスをさらに加速させることが可能になりました。このように両社の戦略が合致し、晴れてKDDIグループに参画することができて、私は大変嬉しく思います。特に日本市場においては、ITやクラウド、携帯電話、無線データ通信などの発達は、お客様から見ると大きなメリットがある一方で、技術革新にキャッチアップする困難さもさらに増していると感じています。その観点からみても包括的なサービスをKDDIグループとして提供できることは、お客様にとり大きな魅力となるでしょう。『両社のシナジー効果を発揮することで、お客様の望まれている真のサービスを提供する』、それが私どもの使命であり、喜びであると考えます。

CDNetworksの今後の新しい歩みにご期待ください。

株式会社シーディーネットワークス・ジャパン
代表取締役 天沼 晃久

KDDI 株式会社

| | |
|--------|---|
| 売上／純利益 | 343 百億円、26 百億円 (2011 年 3 月期) |
| 社員数 | 18,418 名 (連結ベース) |
| 企業特徴 | <ul style="list-style-type: none">・ 電気通信事業の分野において、50 年以上の歴史をもつ・ 日本インターネットエクスチェンジ (JPIX) の筆頭株主・ その他の株主: 京セラ、トヨタ自動車など |
| 保有インフラ | <ul style="list-style-type: none">・ 96 ヶ所の海外支社 (26 ヶ国、59 都市の約 4,000 人の海外職員)・ 国内外におけるネットワーク、ケーブルシップ保有、42 ヶ所の海外データセンタ保有 |

**CDNetworks
Global Offices**

Japan

160-0023
東京都新宿区西新宿6-10-1
日土地西新宿ビル8階
03 5909 3369

Korea

Handong Bldg. 2F, 828-7
Yeoksam-Dong, Gangnam-
Gu,
135-935 Seoul
+82 2 3441 0400

US

441 W. Trimble Road
San Jose, CA 95131
+1 408 228 3700

EMEA

16 St Martins Le Grand
London, EC1A 4EN
+44 20 7096 3982

8 Rue de L'Isly
Paris, 75008
+33 1 75 43 81 92

China

Room No.A-1502
Keijidalou, 900 Yi shan
Road Shanghai
+86 10 8441 7749

info@cdnetworks.co.jp
www.cdnetworks.co.jp

© 2011 CDNetworks.

All rights reserved.

機能や仕様は予告なく
変更されることがあります。

CDNetworksは、世界中の皆さまに今までにない新しい付加価値をご提供 します。

ー安定した経営基盤：KDDIは年間売上3兆円を超える大手通信事業者です。KDDIのブランド力、資本力、インフラ基盤などはCDNetworksが今後長期にわたり安定した経営を続けていくための力強い後ろ盾となります。

ーサービス品質の向上：KDDIのグローバルに構築された安定性・信頼性の高い強固なインフラ網及びデータセンタを経由し、世界中のユーザーにCDNetworksのCDNサービスを迅速に提供します。さらに、KDDIの世界96カ所に点在する営業拠点においては、CDNサービスの販売からユーザーサポートまでCDNetworksを全面的にバックアップする体制を整えます。

ー新商品のリリース：KDDIの事業ビジョン：3M戦略（マルチユース、マルチネットワーク、マルチデバイス）、これはCDNetworksのサービス理念と相通じます。今後、様々な商品を共同開発し、より多くのニーズに柔軟に対応できる新しいビジネスモデルをワンストップで提供します。

プレスリリース

「韓国CDNetworksへの出資について～CDN展開によりグローバルインターネット事業の強化とネットワーク効率化を実現」

KDDI（2011年10月12日発表）ーグローバルにコンテンツデリバリーネットワーク（CDN）サービスを展開するCDNetworksを連結子会社化し、CDN事業に参入すると発表。10月中にCDNetworksが発行する普通株式の85.5%を約1億6700万ドル（約128億円）で取得する。（www.kddi.com/corporate/news_release/2011/1012）

今後の企業体制について

KDDIはCDNetworksの筆頭株主となり、CDNetworksはKDDIの系列企業の1つとなりますが、CDNetworksはKDDIと連携しながらこれまでと変わらない経営体制とサービス体系を維持します。

About CDNetworks

CDNetworksは世界で最もチャレンジングな新興市場でミッションクリティカルなe-ビジネスを可能にします。ウェブ高速化ソリューション（コンテンツ・デリバリー・ネットワーク：CDN）を「どんなサイトにも」「コンテンツや端末を問わず」「国外へ向けても」提供するアジア最大級のグローバル企業として、主要な配信拠点から構成されるグローバルインフラによる負荷分散を基盤に、エンタープライズ・ソフトウェア・eコマース・ハイテク・メディアおよびゲームなど幅広い業界へサービスを提供中。特にアジア・中国・ロシア・アフリカ・中南米・中東などの新興市場に自社配信拠点を設置し、グローバルサービスを提供している唯一のCDN事業者です。2000年に設立されたCDNetworksは、日本・韓国・中国・米国・フランスにオフィスを構えています。

